

地域の魅力を活かした教育旅行の 受入に関する研修会

～あらためて見つめよう 子どもたちを育む農村の価値と役割～

本道では、毎年4万人の子どもたちが教育旅行で農村を訪れ、農業体験をしたり農家民泊に宿泊して農家とふれあい、食や農業・農村の大切さを学んでいます。

学校関係者からは、農家に宿泊して農業体験をしたいという要望が多く寄せられていますが、およそ半分は断っている状況です。

一方、農村における受入の取組は、農業・農村の応援団づくりや地域活性化にもつながる大切な取組でもあるため、共に取り組む仲間を増やすとともに、地域の魅力的な資源を活かしながら多くの人に関わって地域ぐるみで取り組める受入のプログラムづくりが課題となっています。

そこで、教育旅行に関わる皆さんとともに、これらの課題の解決に向けたヒントを探る研修会を開催しますので、多くの方のご参加をお待ちしております。

日時 ■ 平成28年2月17日(水) 13:30～17:00
場所 ■ 札幌市中央区北3条西7丁目1 第二水産ビル 4F 会議室
主催 ■ 北海道

プログラム

13:00 受付開始

13:30～14:30 基調講演

「子どもたちを育む農村の価値と役割について(仮)」

講師 早稲田大学教育・総合科学学術院教授 宮口 侗迪 氏

14:30～15:15 事例報告

- ・「そらち DE い〜ねの取組」株式会社スポーツピア 代表取締役社長 安田 光則 氏
- ・「有限会社アグリテックの取組」有限会社アグリテック 代表取締役社長 中田 浩康 氏
- ・「NPO 法人食の絆を育む会の取組」株式会社ノースプロダクション 代表取締役 近江 正隆 氏

15:30～17:00 パネルディスカッション

農村の価値とは。農村の価値を広めるために必要なこととは……。教育旅行受入のコーディネーターとして活躍する3名の実践者が教育旅行受入の今とこれからを語ります。

【司会進行】まちづくり観光デザインセンター代表 かとう けいこ 氏

17:00 閉会

都合により、講演者等プログラムが変更になる場合がありますので、ご了承ください。

研修会の参加費は無料です。

■ お問合せ・申込み先 ■

北海道農政部農村振興局 農村設計課 農村企画グループ(担当:山田、安田)

TEL 011-204-5397

申込締め切り: **2/10(水)**